

第43回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ：産学連携が拓く未来の教育・学習プラットフォーム

<http://www.jsise.org/taikai/2018/>

- 開催日時：2019年9月4日(火)～9月6日(木)
- 会場：北星学園大学（北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1）
- 主催：一般社団法人教育システム情報学会

■ 大会日程（予定）

9月4日（火）	
午前	プレカンファレンス
午後	開催校挨拶，基調講演，企業セッション，一般セッション（口頭発表およびインタラクティブ（ポスター・デモ）発表），企画セッション
9月5日（水）	
午前	一般セッション（口頭発表のみ），企画セッション
昼	企業ランチョンセミナー
午後	各種表彰，大会企画パネル，一般セッション（口頭発表およびインタラクティブ（ポスター・デモ）発表），企画セッション，学生研究特別セッション（インタラクティブ（ポスター・デモ）発表）
夜	懇親会
9月6日（木）	
午前	一般セッション（口頭発表のみ），企画セッション
午後	クロージングセッション，大会奨励賞表彰，公開シンポジウム

(*) 大会日程は変更される可能性があります。

■ 交通アクセスについて

<http://www.hokusei.ac.jp/access/>

札幌市営地下鉄大谷地(おおやち)駅 1 番出口より徒歩 5 分

AIRDO MICE 割引運賃のご案内

札幌市と AIRDO の協定により，今大会では「AIRDO MICE 割引運賃」を利用できます。予約変更可能な割引運賃で，利用対象者は本学会への参加者および参加者の二親等以内の親族となります。予約・搭乗時に必要な「運賃利用承認コード」は，大会参加申込時にご案内いたします。

<http://www.airdo.jp/fare/list/mice.html>

■ 大会までのスケジュール

投稿締切の後に、参加申し込みが開始されます。発表者には、参加申込の開始時にメールでご連絡いたします。

- 2018 年 4 月 12 日(木) 講演申込・投稿開始
- 2018 年 5 月 16 日(水) 講演申込締切
- 2018 年 6 月 12 日(火) 投稿締切
- 2018 年 6 月 14 日(木) 参加申込開始
- 2018 年 7 月 12 日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2018 年 8 月 7 日(火) [発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2018 年 8 月 17 日(金) [発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード)

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ 企画セッション

1. AI/ロボット/VR・AR を用いた学習・教育支援のイノベーション・リノベーション
2. ラーニング・アナリティクス (LA) の先進事例と課題
3. 医療・看護・福祉領域における ICT 等活用教育
4. 対話 (dialogue) は学習にどのような役割を果たしているのか
5. 小型ハードウェアと電子工作による教育システム・ツールの開発
6. ICT を活用した PBL(problem / project based learning)の支援
7. 新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計
8. 新学習指導要領とプログラミング教育

■ 講演論文集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し、CD-ROM, および Web による配布としております。Web 版の講演論文集は、8 月 27 日(月)に大会参加者のみに公開され、2019 年 3 月 1 日(金)に一般公開されます。

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。お申し込み先など、詳細は大会 Web サイトでお知らせいたします。

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトでお知らせいたします。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会
E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp

2018 年度 第 1 回研究会 開催案内

担当：松居辰則，真嶋由貴恵，加藤泰久，北村士朗，森本容介，仲林清（研究会委員会）

■テーマ：学習環境デザインと実践のモデル／Learning Analytics／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般

※学習分析学会（JASLA）研究会と合同開催です。

■開催日時：2018 年 5 月 12 日（土）

■会場：東京工芸大学 中野キャンパス（予定）

東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線 中野坂上駅下車 徒歩約 7 分

1 番出口より山手通りを初台・大橋方向に進み，成願寺を右折

<https://www.t-kougei.ac.jp/access/#nakano>

■参加費等：

研究会への参加は無料です。研究報告（講演論文集）は，1,000 円で当日購入できます。研究報告は電子化されており，インターネット経由でダウンロードするか，受付に準備する USB メモリからコピーしていただきます。詳しくは以下のページをご覧ください。

http://www.jsise.org/utility/information/howto_jrr.html

■懇親会：

研究会終了後，懇親会を開催する予定です。会費は 4000～5000 円の予定です。

■お問い合わせ先：

松居辰則（早稲田大学，第 1 回研究会担当委員）

E-mail: matsui-t@waseda.jp（「@」の部分は，半角の「@」に変えて下さい）

特集号論文募集

—新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境—

本学会では 2007 年に特集号「新しいメディア/デバイスを活用した学習支援環境」を発刊いたしました。それから 10 年が経過し、その間に数多くの新技術に基づくメディア・デバイスが生まれてきました。これらのメディア・デバイスは現代および次世代の学習支援システムを考える上で欠かせないものとなっています。そこで本特集号では「新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境」に関する論文を募集いたします。一般論文・実践論文のみならず、ショートノート・実践速報としてのご投稿も歓迎いたしますので、奮ってご投稿ください。

1. 対象分野

教育分野にこのようなメディア・デバイスを応用するための基礎的研究、メディア・デバイスを活用した学習支援環境の提案、ならびにこのような環境を用いた教育実践など、当該分野に関する研究開発の論文を幅広く募ります。キーワードは以下の通りですが、これらに限定されるわけではありません。

キーワード: アイトラッカー, 加速度センサ, 力覚デバイス, 全天周カメラ, RGB-D カメラ, 各種センサ・入力デバイス, Virtual Reality, Augmented Reality, Mixed Reality, 位置情報, 3D プリンタ, IoT デバイス (これらに限定されるわけではありません)

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「**特集号**」を必ず選択してください。
- 特集論文研究会（2018 年 3 月 17 日（土）開催済）で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、**特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載**してください。
- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。

英文誌ホームページ : http://www.jsise.org/journal/journal_en.html

4. スケジュール

- 特集論文研究会：2018年3月17日（土）（開催済）
会場：畿央大学（奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2）
- 論文投稿締切：2018年6月4日（月）
- 掲載予定巻号：2019年4月1日発行予定の学会誌（Vol.36, No.2）
（採録通知送付予定：2018年11月初旬頃）

5. 特集号編集委員会

委員長：小西達裕（静岡大学）

副委員長：西野和典（九州工業大学），松原行宏（広島市立大学）

幹事：國宗永佳（千葉工業大学），松田憲幸（和歌山大学），光原弘幸（徳島大学），
千田和範（釧路工業高等専門学校），岡本勝（広島市立大学）

委員：学会誌編集委員，特集号編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：
特集号編集委員会副委員長 西野和典（九州工業大学）
E-mail: nishino@lai.kyutech.ac.jp
- Web 投稿に関する問い合わせ：
教育システム情報学会編集事務局
電話：03-5389-6492，E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

教育システム情報学会英文誌論文募集 (Vol. 18 夏期募集)
The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 18

※J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

※J-STAGE を通して、Google Scholar, CiNii を初めとする国内外の主要な検索エンジンや学術情報サービスと連携しており、掲載された研究成果は国際的にも認知可能となります。

教育システム情報学会では、2002 年から毎年定期的に英文誌: The Journal of Information and Systems in Education を発行しています。2011 年からは、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルに移行し、国際的な発信力を強化しています。このたび、Vol.18 に掲載する論文を募集いたします。教育システム情報に関連した領域全般を対象としておりますので、是非、この機会に多くの方々にご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思います。下記の要領に沿って、ご投稿いただきますよう、お願いいたします。

○論文種別：

一般論文(Regular Paper), 実践論文(Practical Paper),
ショートノート(Short Note), 実践速報(Report on Practice)

○投稿締切：

2018 年 5 月 31 日

締切までに投稿いただいたものは、2018 年 12 月末までに採録の可否を決定・通知する予定です。採録された論文については校正等の手続きを経たうえで順次 Vol.18(2019)に掲載させていただく予定です。

○投稿要件

- ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- ・投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。

○原稿執筆要領：

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください。

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

○投稿方法

※電子投稿システムを利用して投稿を行ってください。

- ・ 下記 URL より電子投稿用 Web ページにアクセスしてください。

https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html

- ・ 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行ってください。
- ・ 投稿論文は印刷イメージに近い書式で PDF ファイルとして作成し、アップロードしてください。

※査読・判定結果の言語の希望（英語または日本語）を電子投稿システムの「Comments to the Editorial Office」欄に記入してください。希望の記入がない場合、言語は英語になります。なお、希望にそえない場合がありますので、予めご了承ください。

○編集委員会

委員長：平嶋宗（広島大学）、副委員長：鷹岡亮（山口大学）、幹事：八重樫理人（香川大学）、国近秀信（九州工業大学）、委員：稲葉利江子（津田塾大学）井上智雄（筑波大学）、入部百合絵（愛知県立大学）、加島智子（近畿大学）、加藤由香里（東京農工大学）、金西計英（徳島大学）、岡本勝（広島市立大学）、小暮悟（静岡大学）、小島一晃（帝京大学）、林佑樹（大阪府立大学）林雄介（広島大学）、三石大（東北大学）、室田真男（東京工業大学）、森本康彦（東京学芸大学）

Call for Papers

The Journal of Information and Systems in Education, Vol.18

*It is published as Open Access Journal through J-STAGE.

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

*All articles are available through leading search engines and academic information services, such as Google Scholar and CiNii.

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published *The Journal of Information and Systems in Education* since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for Volume 18 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information communication technology (ICT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of ICT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that “e-learning” frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

The Journal of Information and Systems in Education aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

Scope:

The topic of papers includes but is not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities
- Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

Important Date:

Submission Deadline: 31 May, 2018

Instruction for Manuscripts:

Please refer to the “Authors Instruction” in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

Paper Submission:

Authors must submit their papers through the web submission system at:

https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html

Publication:

For papers submitted before the submission deadline, notification of acceptance or non-acceptance will be sent to the author by the end of December 2018.

Accepted papers will be appeared in Vol. 18(2019) after proofreading and so on.

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/>

Contact Address:

JSiSE International Journal Editorial Office

E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

Editorial Committee:

Editor-in-Chief: Tsukasa Hirashima (Hiroshima University), Vice-Editor-in-Chief: Ryo Takaoka (Yamaguchi University), Associate Editors: Rihito Yaegashi (Kagawa University), Hidenobu Kunichika (Kyushu Institute of Technology), Editorial Members: Rieko Inaba (Tsuda College), Tomoo Inoue (University of Tsukuba), Yurie Iribe (Aichi Prefectural University), Tomoko Kashima (Kinki University), Yukari Kato (Nagoya University of Foreign Studies), Kazuhide Kanenishi (Tokushima University), Masaru Okamoto (Hiroshima City University), Satoru Kogure (Shizuoka University), Kazuaki Kojima (Teikyo University), Yuki Hayashi (Osaka Prefecture University), Yusuke Hayashi (Hiroshima University), Takashi Mitsuishi (Tohoku University), Masao Murota (Tokyo Institute of Technology), Yasuhiko Morimoto (Tokyo Gakugei University)

2018 年度 関東支部総会開催のご案内

関東支部 支部長 松居辰則(早稲田大学)

教育システム情報学会関東支部の総会を、2018 年 5 月 12 日(土)に開催いたしますので、支部会員の皆様にはご出席くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。総会への出欠の確認・委任状につきましては、後日メールにてご案内いたします。

なお、この設立総会は、教育システム情報学会第 1 回研究会の中で開催させていただきます。

記

【日程】 2018 年 5 月 12 日(土)

【場所】 東京工芸大学 中野キャンパス(予定)

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5

東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線 中野坂上駅下車 徒歩約 7 分

1 番出口より山手通りを初台・大橋方向に進み、成願寺を右折

<https://www.t-kougei.ac.jp/access/#nakano>

以上

ラーニングイノベーション 2018 での研究展示募集のお知らせ

教育システム情報学会 産学連携委員会

委員長 松浦 健二

平素より、本学会活動にご理解、ご尽力くださり、厚く御礼申し上げます。

本学会活動に関係するイベントとして、東京国際フォーラム（東京・有楽町）にて 2018 年 7 月 4 日(水)から 6 日(金)までの三日間、「ラーニングイノベーション 2018」があります。教育や学習支援に関する ICT と企業人材開発を結び、新しい試みを参加者が体感できる貴重な場です。下記のサイトをご覧ください。

(参考) ラーニングイノベーション 2018 のウェブサイト

<http://expo.nikkeibp.co.jp/li/exhibit/2018/>

2017 年度に続き、本学会会員の皆様には、本イベント内に 1 ブースを設け、開発システムのデモやポスター展示の場を提供する予定です。JSiSE の学術研究成果を産業界に知っていただき、研究展示を通して産学連携のきっかけとなることを目指しています。つきましては、以下の応募条件にて、展示希望を募集いたしますので、積極的なご応募をよろしくお願いいたします。企業経営者・人材育成担当が多数来場されることから、産学連携を通じて人材育成や能力開発につながりそうな研究内容を幅広く募集いたします。なお、多数応募がある場合、調整等によりご期待にお応えしかねることがありますので、予めご了承ください。

■応募条件

- 募集期間：2018 年 4 月 1 日(日)から 2018 年 4 月 30 日(月)
- 募集対象：教育システム情報学会会員のうち、高等教育機関（大学・大学院・高等専門学校等）の研究者
- 費用負担：教育システム情報学会
- 展示空間：1 小間 2m×2m（平面サイズ）
- 展示時間：イベント実施期間中の各日の前半または後半の半日展示（三日間につき原則 6 件、ただし応募件数によって 1 日 3 件（2.5 時間/件）となる場合があります）
- 展示条件：インターネット接続は提供ありません。電源はコンセント 1 口です。
- 応募手続き：<https://goo.gl/forms/77zz3RlGhWPsXI423>（短縮 URL）

■参考資料：ブースイメージおよび 2017 年度の様子



本件問合せ先：jsise-li@jsise.org

ラーニングイノベーションングランプリ 2018 応募のお知らせ

教育システム情報学会 産学連携委員会

委員長 松浦 健二

産学連携委員会から JSiSE 会員の皆さまへご案内いたします。

JSiSE が共催する産学連携イベントであるラーニングイノベーションングランプリ 2018 の応募が開始されました。

学術界での学習・教育におけるラーニングテクノロジーに関する研究成果やその芽生え期の研究を産業界が評価する、年に一度のコンペティションです。大学等の研究は、普段アカデミックな評価を受ける機会が多いのですが、本イベントでは産業界も普段目を向けていないような研究や、産業界から見て価値のある潜在的な研究も評価されます。応募対象は、高等教育機関（大学・大学院・高等専門学校等）の研究室（チーム）です。

皆様の研究成果を論文評価とは異なる目で見ていただける機会ですので、是非ご応募ください。

■スケジュール

- 2月26日（月）： 申込受付開始
- 4月26日（木）： 申込受付終了
- 5月10日（木）： 一次審査結果発表
- 6月15日（金）： 二次審査結果発表
- 7月4日（水）： 最終審査、表彰式（展示会、「ラーニングイノベーション 2018」初日）

■公式サイト

<http://ligp.gingerapp.co.jp/>

主催：モバイルラーニングコンソシアム（mLC）（4/1 よりマイクロラーニングコンソシアムに改称予定）

共催：教育システム情報学会（JSiSE）、日本イーラーニングコンソシアム（eLC）

協賛：学習分析学会、人工知能学会、電子情報通信学会教育工学研究会、日本 e-Learning 学会、日本教育工学会、日本情報科教育学会

協力：日経 BP 社、ジンジャーアップ（公式サイト）

運営：ラーニングイノベーションングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ゴールドスポンサー：サイコム・ブレインズ、創新ラボ、デジタル・ナレッジ、D2C, WARK

2017 年度第 6 回研究会報告

■テーマ：初等教育とプログラミング／一般

■開催日：2018 年 3 月 17 日(土) 10:00 - 16:40

■会場：畿央大学

(〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2)

<http://www.kio.ac.jp/guide/outline/access/>

■担当：西野和典（九州工業大学）、西端律子（畿央大学）、鷹岡亮（山口大学）、浅羽修丈（北九州市立大学）、山本樹（創価大学）、永田奈央美（静岡産業大学）、長谷川理（信州大学）

■発表件数：20 件

■参加者：81 人

■趣旨：

今年度の第 6 回研究会は、きたるべき学習指導要領の改訂に伴う、初等教育におけるプログラミング教育の学習内容や学習方法、教材開発などについての研究や議論を深めるため、「初等教育とプログラミング」に関連する研究発表を中心に実施しました。

年度末の研究会らしく、北は北海道から南は佐賀県まで全国各地からご発表いただきました。また、小学校における教科横断的な実践研究や、プログラミングによる文書作成や数学の実践、情報倫理教育、ICT と地域連携などさまざまな研究発表が行われました。特に、奈良県立磯城野高等学校と東京工芸大学との共同研究「古都奈良の魅力を発信する AR 技術を使った観光地案内アプリ制作と ICT デザイン教育」においては、高校生や大学生総勢 20 人のチームが発表を行いました。



なお、発表テーマの一覧は以下の通りです。

- ・図解を入力とした設計書作成とプログラミングによる文書作成教育
- ・動画とプログラミングを活用した数学の授業について
- ・プログラミング的思考の育成を目指した小学校における教科横断的なプログラミング教育の実践
- ・プログラミング課題自動チェック機構を活用した演習課題の分割と事前学習化の試み
- ・情報系ロールモデルとなる外部講師の講演を通じた学生のキャリア形成の意識調査
- ・情報倫理教育における協調的学習の効果 ―情報倫理に関わる行動・判断への影響―
- ・遠隔プレゼンテーションに対する BGM の効果とその検証
- ・コメント同期型サイト及び絵文字を利用した自己反省を促すプレゼンテーション評価方法の提案
- ・ストーリーテリングと商品紹介のスライド作成における各種所要時間と意識の比較
- ・拡張性を有する学習支援システムアーキテクチャに基づく分散マルチプラットフォーム学習環境の検討
- ・意図共有スキルの向上を指向した思考整理支援システムの開発と評価
- ・両手で行う手話動作に関する認識手法の基本検討とその評価
- ・統計データを含むレポート作成指導のためのシステム化への公共データの活用
- ・Web 調べ学習における主体的学習プロセスの診断手法
- ・スマートフォン向け卓球ゲームリアルタイム記録・分析アプリの開発
- ・e ラーニングを用いた教員免許更新講習における履修モデルの提案
- ・評価者の気づきを促進する模擬授業評価システムの開発
- ・ICT を活用した地域住民によるハザードマップ作成の試用
- ・社会福祉士養成課程における I C T を活用した模擬面接教材の評価分析
- ・古都奈良の魅力を発信する AR 技術を使った観光地案内アプリ制作と ICT デザイン教育

2017 年度特集論文研究会 開催報告

■テーマ：新技術に基づくメディア／デバイスを活用した学習支援環境

■開催日時：2018 年 3 月 17 日（土）

■会場：畿央大学

■担当：西野和典（研究会委員会／学会誌編集委員会）、松田憲幸（学会誌編集委員会）、
光原弘幸（研究会委員会／学会誌編集委員会）、國宗永佳（学会誌編集委員会）、
千田和範（学会誌編集委員会）、岡本勝（学会誌編集委員会）

■会場担当：西端律子（研究会委員会）

■発表件数：15 件／参加者数 52 名

■概要：

特集論文研究会は畿央大学（奈良県北葛城郡広陵町）にて、2018 年 3 月 17 日に第 6 回研究会と共同開催されました。近年の様々な技術開発の発展を鑑み設定したテーマである「新技術に基づくメディア／デバイスを活用した学習支援環境」を中心として、幅広い研究発表を募集いたしました。結果として、15 件（うち 11 件が後述の「コメント希望」）の発表が行われ、52 名の方にご参加いただき、各会場とも熱心に議論が行われました。また、並行して開催された第 6 回研究会とも相互に参加が自由となっており、2 つの研究会でのべ 133 名の方が参加されました。

この特集論文研究会は他の研究会とは異なり、2019 年 4 月発行予定の学会誌特集号への投稿を促進することを目的とし、前年までと同様に、特集号と同じテーマで発表を募集するとともに、希望者には研究会委員会と編集委員会からのコメントの提供を行いました。このコメントは発表後に電子的に発表者に送付されました。また、コメントを希望した発表については、通常の発表より大幅に長い 20 分の質疑応答時間を確保しています。十分な時間を確保することによって、前述の研究会委員、編集委員からのコメントだけではなく、研究会参加者からの様々な質問や質問・コメントを得ることができ、研究のさらなる発展や、よりよい論文を執筆していただくことを目指しています。各セッションで展開された活発な議論やコメントが、特集号への投稿の弾みになれば幸いです。

研究会後に第 6 回研究会と合同で開催された懇親会においては、研究会中には収まりきらなかった議論を続けたり、教育・研究について熱く語り合ったりと、とても有意義な時間になりました。

最後に、コメントを提供していただいた皆様、座長をお引き受け頂いた皆様、会場校として準備・運営を行って頂きました西端先生ならびに学生スタッフの皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

2017 年度 JSiSE 学生研究発表会の開催報告

人材育成委員会

2017 年度 JSiSE 学生研究発表会が例年同様に 2018 年 2 月末から 3 月上旬にかけて、北海道、北信越、関東、東海、関西、中国、四国、九州の 8 地区で開催されました。当初計画していた沖縄地区での開催は不開催となったため、来場者数は 296 名と若干減りましたが、発表件数は 140 件（前年度より 15 件の増）、であり、各会場とも盛況な研究発表会となりました。優秀な発表については、優秀発表賞および優秀ポスター発表賞として各地区で表彰されました。表彰情報については、後日、学会 Web サイトで公開しますのでご覧ください。

開催地区	開催場所 実行委員長	開催日 2018 年	発表件数	来場者数
北海道	まちライブラリ 小松川浩（千歳科学技術大学）	3 月 11 日（日）	8	28
北信越	長岡科学技術大学 長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学）	3 月 5 日（月）	8	20
関東	ホテル湖龍（河口湖）（合宿形式） 山本樹（創価大学）	3 月 5 日（月） ～3 月 6 日（火）	12	21
東海	愛知県立大学サテライトキャンパス（名古屋駅前） 野崎浩成（愛知教育大学）	3 月 6 日（火）	11	30
関西	関西学院大学大阪梅田キャンパス 小高恵（太成学院大学）	2 月 26 日（月）	44	98
中国	広島大学東千田キャンパス未来創世センター 林雄介（広島大学）	3 月 3 日（土）	34	52
四国	香川大学 香川大学幸町キャンパス 八重樫理人（香川大学）	3 月 2 日（金）	11	21
九州	佐賀大学 岡崎泰久（佐賀大学）	3 月 1 日（木）	12	26



教育システム情報学会研究会における 不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究報告は、現在 31 巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年 140 件程度の研究成果(2014 年度 139 件、2015 年度 138 件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただけて参りました。2016 年度からは印刷媒体での研究報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- ・ 年間購読: 4,000 円(定例研究会年 6 回、特集研究会 1 回、計 7 回分を含む)
- ・ 当日販売: 1 回分 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。 すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば):
お名前:
所属:
連絡先 e メールアドレス:
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

JSiSE 学生研究発表会関東地区の「ラウンドテーブル」についての報告

2017 年度学生研究発表会関東地区実行委員

2017 年度 JSiSE 学生研究発表会（関東）は、3 月 5 日～6 日にかけて、山梨県河口湖のホテル湖龍にて開催され、盛況のうち無事閉会いたしました。関東地区では昨年度に引き続き合宿形式での口頭発表（12 件）とラウンドテーブルを実施いたしました。ここでは、学生研究発表会（関東）の特徴である、ラウンドテーブルを中心に報告いたします。

ラウンドテーブルでは 2 グループ（6 名ずつ）に分かれ、2 日間で合わせて 4 時間近いグループ議論を行いました。各グループにはグループのメンバーの研究領域に近いテーマを設定（「教育・学習支援においてカリキュラムはどのようにあるべきか」と「教育・学習支援におけるインターフェースはどのようにあるべきか」）し、テーマの中で「問題を発見し、その問題をどのように解決するか」を主目的としたタスクを与えることで、疑似的な研究プロセスの一つを体験してもらいました。各グループは、グループメンバーの研究内容から、問題点を発見するために活発な議論を繰り広げていました。グループ活動の最終成果発表では、両グループとも具体的な解決方法まで含めた発表となっており、短時間ながら、それぞれよくまとまった発表となっていました。

発表会終了 10 日後に、主にラウンドテーブルの「提示した課題」、「課題と自分の研究との関連」などどうだったか？というアンケートを実施しました。「課題と自分の研究との関連」関連の質問に対しては、「教職志望者として色々な人の教育についての意見を聞くことができた。」「チームの活動においてどのように進行していくのか、どのようにまとめるのかなどのアクションを今後経験するであろうチームでの活動に生かせると思った」という肯定的な意見がみられました。一方で、「提示した課題」関連の質問に対しては、「教育と学習という異なる観点に関して同時に話を進行することは困難であった」、「教職とインターフェースの結びつきを考えるのに戸惑った」、「まがりなりにも教育工学を学んでいるため、適切な課題だと感じた」、「どのレベルまで深く課題を考えるかも任せられたのかわからなかった」といった、来年度の課題設定や、ファシリテート方法を示唆する貴重な意見をいただきました。

関東地区では、来年度も合宿形式の学生研究発表会を予定しており、ラウンドテーブルも実施する予定です。今年度参加した学生の貴重な意見をもとに、将来的に少しでも役に立つラウンドテーブルにしていくため。今後、アンケートの詳細な分析をすすめ、新たなラウンドテーブルの展開を考えていこうと思っております。



ラウンドテーブルの様子



参加者による集合写真

北信越支部主催ワークショップ 「成果発表を磨く」開催報告

北信越支部の学生研究発表会の開催に先立ち、3月4日（日）に、長岡技術科学大学にて若手研究者育成ワークショップ「研究成果を磨く」を開催しました。主に博士課程学生を対象に北信越支部が独自に開催する、定例のイベントとなっております。日頃の研究成果をさらにブラッシュアップし、論文投稿へと結びつけてゆく事を目的とし、今回で4回目の開催となりました。発表対象者を北信越支部に限定せず広く募集し、今回は2名の博士課程に在学する学生より申し込みをいただきました。

ワークショップでは、最初に JSiSE 仲林会長から「研究論文のまとめ方と査読のポイント」と題したご講演をいただきました。研究テーマの設定における問題提起の考え方から始まり、それを解決する過程のポイント、さらには仮説的思考法に基づくアプローチなど示唆に富んだお話をいただきました。また、論文にまとめてゆく際のノウハウなどを査読者の立場から解説いただき、非常に実践的な内容でした。

講演の後、博士課程の学生2名（北陸先端科学技術大学院大学 吉良元さん、名古屋大学 館伸幸さん）からそれぞれ研究内容に関するプレゼンテーションが行われ、フロアでの討論が行われました。それぞれの内容に対し参加者から多数のコメント・質疑が寄せられ、研究の位置づけの明確化や研究の方向性などについて考えていただく大変良い機会となりました。また、討論の中では白熱した議論が展開される場面もあり、大変活発なワークショップとなりました。両名の論文投稿への弾みとなれば幸いです。



仲林会長によるご講演の様子



Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より，全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました．本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております．本学会へのご質問・お問い合わせは，学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします．また，Facebook アカウントとの連携も行っており，Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので，ぜひご活用（フォロー）ください．

<https://twitter.com/JsisePr>

✧ 2018 年 3 月 28 日現在，フォロワー数 ：187 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています．本ページでは，

- ・ 論文・発表募集
- ・ 本学会に関連するイベントの情報

などを，いち早くお届けします．ぜひ，ご覧下さい．

Facebook ユーザの方は，ぜひ，「いいね」をお願いいたします．

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

✧ 2018 年 3 月 28 日現在，いいね数 ：328 人





他団体 協賛・後援のお知らせ

協賛 「平成 30 年度工学教育研究講演会」

日時：2018 年 8 月 29 日（水）～31 日（金）

会場：名古屋工業大学

後援 「全国高等専門学校第 29 回プログラミングコンテスト」

日時：2018 年 10 月 27 日（土）～28 日（日）

会場：アスティ徳島



国際会議のご案内

- 2018 年 11 月開催

- ◇ The 26th International Conference on Computers in Education(ICCE2018)

開催期間：November 26-30, 2018

開催地：Metro Manila, Philippines

URL: <http://icce2018.ateneo.edu/>

論文投稿スケジュール：Paper Submission Due: May 7, 2018

- 2018 年 12 月開催

- ◇ IEEE TALE2018: The IEEE International Conference on Teaching, Assessment, and Learning for Engineering 2018

開催期間：December 4-7, 2018

開催地：Wollongong, Australia

URL: <https://www.tale2018.org/>

論文投稿スケジュール：Paper Submission Due: June 11, 2018



会費納入のお願い

会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、2017年度会費未納の方はご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。なお、2月上旬に2018年度会費納入のお願いをメールでお送りしますので、合わせてお願いします。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【2017 年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に 2017 年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局 (secretariat@jsise.org) までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2018 年 1 月 25 日～2018 年 3 月 23 日

会員名	会員種別
渡邊 栄治	正会員

入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL: <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。